

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		地域ケア会議事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010603000990
		政策体系上の位置付け				単独/補助	補助		040501
政策体系	総合計画の施策名	O106		高齢者福祉の推進				所属課	高齢福祉課
	政策名	O1		子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				課長名	
	施策名	O6		高齢者福祉の推進				グループ	地域包括支援グループ
	手段名	O3		③地域包括ケアシステム体制づくりの推進				担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	介護保険特別会計			
	06	05	04	07	01	地域ケア会議推進事業			
法令根拠	介護保険法、桜川市地域ケア会議設置要綱					単年度繰返し (平成29年度～)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく。地域包括ケアシステムの実現に向けた手法。</p> <p>具体的には、地域包括支援センターが主催し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療、介護などの多職種が協働して高齢者の個別課題の解決を図るとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。 ●個別ケースの課題分析などを積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化する。 ●共有された地域課題の解決に必要な資源開発や地域づくり、さらには介護保険事業計画への反映などの政策形成に努める。 	<p>地域ケア会議委員の選任後、委嘱又は任命(15人以内)</p> <p>個別ケア会議の開催</p> <p>ケアマネに自立支援・重度化防止に向けたケースの選定依頼、会議の開催(開催の通知・連絡を含む)、各専門職からの助言、課題のまとめ</p> <p>地域ケア会議の開催</p> <p>委員への通知、地域ケア会議より出された地域課題の検討、会議終了後、報酬の支払</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
個別会議並びに地域ケア会議の開催	個別会議の開催回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	地域ケア会議の開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
65歳以上の高齢者で支援が困難な事例とそれをケアマネジメントする介護支援専門員	65歳以上の高齢者で支援を受けた人	人	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
	担当した介護支援専門員	人	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる	課題が解決した事例、若しくは調整ができた事例	件	7.00	8.00	8.00	8.00	8.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
入量	事業費	国庫支出金	千円	18	17	33			
		県支出金	千円	9	9	17			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	10	10	20			
		一般財源	千円	9	9	16			
		事業費計 (A)	千円	46	45	86			
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	27		01 報酬	39	
	10 需用費	7		10 需用費	23	
	11 役務費	11		11 役務費	24	
	合計	45		合計	86	

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	地域ケア会議及び地域ケア個別会議の開催。	地域ケア会議及び地域ケア個別会議の開催。	地域ケア会議及び地域ケア個別会議の開催。

事務事業名	地域ケア会議事業	事務事業No.	10603000990	所属課	高齢福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 団塊の世代が75歳以上となる平成37年を見据え、在宅の高齢者や障害者等に対して地域社会全体で取り組む総合的なケアシステムとして茨城型地域ケアシステムを平成17年度より実施してきたが、平成27年の介護保険法の改正により、平成29年度より、地域ケア会議に移行した。令和元年度より国で推奨されている「介護予防のための地域ケア個別会議」を開始した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 介護支援専門員より、困難事例の個別会議も実施してほしい、主任介護支援専門員を対象とした「困難事例検討会」を開催してほしいとの意見があり、事例検討会をスタートした。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <p>要介護被保険者等へ適切な支援をはかることが重度化防止・自立支援につながり、高齢福祉の推進に結び付いている。</p>
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <p>平成27年度の介護保険法改正で制度的に位置づけられ、市町村が地域ケア会議を行うよう努めなければならない旨が規定された。</p>
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない <p>市内の医療・介護事業所の専門職の方々に参加していただき、多角的な視点から意見をいただくことで、要支援者等の重度化防止・自立支援及び地域課題の抽出、個別課題の解決に繋がっている。</p>
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <p>各専門職からの助言の機会が減ることにより高齢者の自立支援の充実が図られにくくなる。また、地域課題が見えにくくなり、地域づくりや新たな資源開発に結び付きにくくなる。</p>
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない <p>類似事業はない。</p>
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない <p>地域ケア個別会議は、医療介護専門職などに無償で助言をいただいております削減余地はない。</p>
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <p>市内の居宅介護支援事業所から順番に事例を提出していただくことになっており、困難事例についてもいつでも相談対応できる体制をとっているため。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 地域ケア個別会議に医師、薬剤師、PT・OT・ST、社会福祉士、主任ケアマネ等の専門職の方々に参加していただき、多角的な視点から意見をいただくことで地域課題の抽出や個別課題解決への検討が出来た。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×		×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×		×																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>